



第1回常任理事会

日時 平成20年4月8日（火）18：20～20：33
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、高木・水元・中村各監事（事務局：島影事務局長ほか11名）

協議事項

第1号 日本医師会代議員の繰上げ補充に関する件
（深澤常任理事）

〈決定〉

長瀬会長が日医理事に就任したことにより、日医定款第19条第2項の規定に基づき、道医執行部役員枠である予備代議員筆頭の畑副会長を繰り上げ補充する。

第2号 国保審査委員会委員の推薦に関する件
（西里常任理事）

〈決定〉

保険医代表1名（外科）の辞任に伴う後任委員として、札幌市医師会から推薦のあった1名を推薦する。

第3号 平成20年度北海道老人クラブ連合会が行う健康づくり支援事業「健康をすすめる運動」委員会委員の就任に関する件（深澤常任理事）

〈決定〉

産業保健部で健康スポーツ医担当の大島事業第4課長を推薦する。

第4号 北海道医師会平成19年度裁定第1号事案に関する件（深澤常任理事）

〈決定〉

3月22日に開催の裁定委員会での結論を承認、次回全理事会に諮る。

第5号 北海道医師会職員貸付金の利率に関する件
（深澤常任理事）

〈決定〉

従前どおりとする。

第6号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡辺常任理事）

〈決定〉

申請のあった日医生涯教育講座18件、道医認定生涯教育講座33件、合計51件につき承認する。

第7号 第1回全理事会の議案に関する件
（深澤常任理事）

〈決定〉

標記会議の提出議題につき決定。

第8号 北海道医師会・医師国保組合事務連絡協議会の開催に関する件（深澤常任理事）

〈決定〉

標記会議につき、5月16日（金）午後1時30分から道医師会館8階会議室で開催する。

第9号 その他

(1) 4月行事予定の一部変更に関する件（事務局）

〈決定〉

提案どおり承認決定。

(2) 平成20年度主行事予定に関する件（事務局）

〈決定〉

提案どおり承認決定。

報告事項

1. 社会保険医療指導委員連絡協議会[3月20日（木・祝）]・点数改定伝達講習会[3月23日（日）～28日（金）]について（西里常任理事）

診療報酬改定に関し、3月20日（木・祝）連絡協議会を開催。また、道内各地においては、3月23日（日）札幌市を皮切りに全11カ所、約5,500名を対象に伝達講習会を開催した（講師はいずれも社会保険事務局指導医療官・医療事務指導官、道保健福祉部国保課職員）。

2. 第118回日本医師会定例代議員会[4月1日（火）・2日（水）]について（三宅・宮本各副会長）

初日は役員等の選挙が施行された。議長には石川育成氏（岩手）を無投票で再選し、副議長には米盛學氏（鹿児島）が206票を獲得し、現職の有山雄基氏（奈良、143票）を退けて初当選を果たした。会長には現職の唐澤祥人氏（東京）が304票を獲得し、新人の下間秀晃氏（兵庫、27票）を破り順当に再選を果たした。副会長には現職の竹嶋康弘氏（福岡）・岩砂和雄氏（岐阜）・宝住与一氏（栃木）の3候補を無投票で再選した。常任理事は定数10名に対して、唐澤氏側の候補10名（現職8名、新人2名）と保坂シゲリ氏（神奈川）の11名の届出があり選挙を行った結果、唐澤氏側の候補全員が当選した。中川俊男氏（道医参与）は常任理事候補では2番目の得票（307票）を獲得し再選された。その他、理事13名、監事3名、裁定委員11名はいずれも定数の届出により無投票で確定した。当会関係では、理事には前職の飯塚弘志氏（前道医会長）に代わり長瀬清会長が、裁定委員には前職の樋口忠氏（現札幌医顧問）に代わり島田保久氏（現札幌医顧問）が就任した。2日目は、唐澤会長の所信表明、日本医学会・高久史磨会長の挨拶、竹嶋副会長により会務報告、竹嶋・宝住各副会長により事業計画・各予算案等が上程に続き、代表質問

7件、個人質問12件の質疑応答が行われた。当会では、代表質問は上埜光紀代議員が「新医師臨床研修制度の見直しについて」、個人質問は宮本慎一代議員が「地域医療の確保について」、山光進代議員が「いつでも、どこでも、だれもが容易に受診可能とするために」の質問をそれぞれ行った。すべての質疑終了後、予算委員会に付託した全議案を理事者提案どおり可決決定し議事を終了した。なお、代議員会終了後にこれらのことは第66回定例総会に報告されすべて承認した。

3. 日医各委員会報告

(1) 男女共同参画委員会[3月12日(水)]について (藤井常任理事)

院内保育所を含む医師就労支援の現況に関する調査および第4回男女共同参画フォーラム(福岡市)準備委員会の報告等があり、その後フリーディスカッションが行われた。

(2) 日医生涯教育推進委員会答申について (渡辺常任理事)

会長諮問「日本医師会生涯教育制度の有効性について」に対する委員会答申が3月21日に行われた。その中で「生涯教育カリキュラムー総合診療医の養成に向けてー(案)」が示されている。今般、同カリキュラム(案)に対する意見募集案内が担当理事宛に5月9日を期限として届いた。各役員で意見があれば4月30日までに学術部(事業第三課)に連絡いただきたい。また、各郡市医師会担当理事宛にも案内することとした。

(3) 日医理事会について(長瀬会長)

4月1日、日医定例代議員会で新役員が選出されたことを受けて、当日午後、第1回全理事会が開催された。役員順位、理事会・監事会等開催日、今代議員会上程の既提出議案と追加議案(第8号議案日本医師会役員功労金支給の件)、執行部職務分担の案件について協議し決定した。

4. 外部各委員会報告

(1) 2008北海道洞爺湖サミット現地医療対策準備会合[3月26日(水)]について(目黒常任理事)

厚労省よりサミット開催期間中の救急医療体制について協力要請があり、その後意見交換が行われた。

(2) 北海道精度管理システム運営委員会[3月27日(木)]について(北野常任理事)

外部精度管理調査の結果について報告があり、その後、平成20年度の本調査の実施方針について協議を行った。

(3) がんプロフェッショナル養成プラン評価委員会[3月27日(木)]について(畑副会長)

委員長に今井札幌医科大学学長が選出された後、がんプロフェッショナル養成プラン・事業評価実施要領(案)、がんプロフェッショナル養

成プランの概要、平成19年度事業実績および進捗状況、平成20年度事業計画(案)等について協議を行った。

(4) 北海道肝炎対策協議会[3月27日(木)]について(畑副会長)

標記協議会の会長に小職が選出された後、その設置目的と北海道における肝炎対策について協議を行った。

(5) 北海道地域医療振興財団過疎地勤務医総合臨床研修運営委員会[3月28日(金)]について (畑副会長)

平成19年度総合医養成支援事業に係る中間評価および総合医育成研修参加医師派遣状況等について報告が行われた。

(6) 認知症対策検討委員会[3月31日(月)]について(藤原常任理事)

事務局より18年度に実施した、認知症疾患病院および介護施設利用者の実態把握を目的とした「認知症実態調査報告」の説明があった。同調査報告の結果について、各委員から認知症に関して若年性、レビー小体型などを診断する際の能力、早期発見・早期対応の重要性などについて種々意見交換が行われた。20年度においても、前年度同様に認知症対策が各々実施されるということなので、引き続き参画して取り組んでいきたい。

5. 各部報告

(1) 第10回医療政策部・第4回救急医療部合同担当理事会[3月25日(火)]について

(直江常任理事)

地域医療を確保するために地元の開業医などが支援態勢を敷いていることを仄聞していることから、郡市医師会(医育を除く)を対象に「地域医療に関する調査」を実施することとした。また、6月21日(土)郡市医師会長協議会・道医連郡市代表者会他終了後、「第1回政経問題懇話会」を開催すること、およびテーマや講師につき検討した(常任理事会として、同懇話会の開催を了承した)。

(2) レセプトオンライン請求義務化に関するアンケート調査について(西里常任理事)

日本医師会より「レセプトオンライン請求義務化に関するアンケート調査」の実施依頼があった。オンライン請求義務化に伴い、さまざまな問題発生が懸念されることから依頼があったもので、実施の詳細は、担当部にて検討することとした。

6. その他

(1) 会員数について(深澤常任理事)

平成20年3月31日現在の会員数は8,355名で、内訳はA会員2,623名、B1会員543名、B2会員4,397名、C1会員98名、C2会員181名、C3会員

513名となっている。日医会員は、6,179名である。

総医協関連事項（三宅副会長）

前回全理事会以降に開催された各専門委員会、総会の協議事項等について報告した。

第2回常任理事会

日時 平成20年4月21日（月）18：45～20：00
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・山本・北野・渡辺・三戸・目黒・原田・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、高木・水元・中村各監事（事務局：島影事務局長ほか12名）

協議事項

第1号 母体保護法医師指定に関する件 （深澤常任理事）

〈決 定〉

4月16日の審査委員会で指定「可」とされた再審3名の申請者を指定医師とする。

第2号 役員会務分担の一部変更に関する件 （深澤常任理事）

〈決 定〉

原田常任理事の退任に伴い、地域福祉部部長に三宅副会長（兼務）、医療関連事業部副部長に深澤常任理事、学術部部員に藤井常任理事がそれぞれ後任補充まで就任する。

第3号 北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

〈決 定〉

保留とし次回に諮る。

第4号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（目黒常任理事）

〈決 定〉

認定要件を満たした新規34名、更新34名の申請を承認。日医へ推薦する。

第5号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（目黒常任理事）

〈決 定〉

認定要件を満たした新規11名、更新4名の申請を承認。日医へ推薦する。

第6号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡辺常任理事）

〈決 定〉

申請のあった日医生涯教育講座44件、道医認定生涯教育講座39件、合計83件を承認する。

第7号 その他

(1) 5月行事予定に関する件（事務局）

〈決 定〉

提案どおり承認決定。

報告事項

1. 第1回緊急臨時的医師派遣体制整備事業検討会[4月12日（土）]について（直江常任理事）

北海道より、本年度1億800万円の予算がついた「緊急臨時的医師派遣体制整備事業」について、北海道医師会・北海道病院協会などの協力を得て、緊急に医師を派遣する体制の構築について説明があった。また、常勤医師が他の医療機関に勤務することについて検討した。当会からは、内容を整理して再度示すよう要請した。

2. 北海道の臨床研修病院合同プレゼンテーション2008札幌[4月13日（日）]について （渡辺常任理事）

参加病院は、北大など三大学を合わせ68病院。参加医学生は、事前申し込み数は122名であったが、当日参加者は道外の岩手医科大他5大学の6名を含め168名。また、参加者へアンケート調査を実施し63名から回答があった。

3. 北海道の臨床研修病院合同プレゼンテーション2008東京[4月20日（日）]について （渡辺常任理事）

参加病院は、北大・札幌医大他28の計30病院。参加医学生は事前申込者22名および当日受付の5名で計27名。

4. 外部各委員会報告

(1) 北海道精神科救急医療システム連絡調整委員会第1回検討作業部会[4月16日（水）]について （北野常任理事）

現行システムの基本的な仕組みを見直し、関係機関等の効果的な連携・協力等のあり方について検討を行うため、ブロック毎の現状と課題や当番病院の実態等に関する調査を行うこととした。

5. 各部報告

(1) 第1回産業保健部担当理事会[4月9日（水）]について（目黒常任理事）

産業保健部所管事業について検討した。今年度はメンタルヘルスに関するガイドラインを基に研修会を4カ所（札幌・北見・帯広・旭川）で開催することとした。このガイドラインは5月1日発行の道医報の附録に掲載し、マスメディア等にも発送する。

(2) 北海道医報について（藤原常任理事）

4月8日（火）第1回広報委員会にて、北海道医報誌面充実のため当会で行っている事業の掲載について検討がなされたので、各部の協力をお願いしたい。

6. その他

(1) 日医死因究明制度第三次試案に関するアンケートの回答について（山本常任理事）

日医の標記アンケート調査について、郡市医師会および役員から意見をいただきながら回答

をまとめた。22日には提出したいので、意見があれば早急に申し出願いたい。各学会が第3次試案をある程度は評価しているが、我々医療関係者は完璧な形で法整備が成されることを期待している。当会としては、刑事訴追についての明確な判断ができないので、日医に対してさらに充実させるために継続して提言するよう要望していく。今月24日（木）に開催される日医の連絡協議会でアンケート結果が公表されるので、後日お知らせする。

(2) 谷垣政調会長との意見交換会[4月19日（土）・北見]について（長瀬会長・藤原常任理事）

自民党政調会長が北見日赤病院を視察に来られた際に、意見交換する機会を得た。北海道の地域医療の実情を述べ、ドクターヘリの必要性和国の補助をお願いした。また社会保障費の

2, 200億の削減撤廃と卒後臨床研修制度の見直しについても強く要望した。

(3) 黒松内町民による医療フォーラム[4月19日（土）・黒松内]について（宮本副会長）

「もし、黒松内に病院が無くなったら」をテーマに、町民有志による医療を考えるフォーラムが開催された。第1部：黒松内の医療状況の解説、第2部：テーマの寸劇、第3部：ディスカッションの三部構成で、ディスカッションには北大・前沢教授と倶知安厚生病院・高橋院長が参加。160名の参加があり、主催者はこれを契機に回を重ねて行きたいとのことであった。地域住民が主体的に医療を考える集いを開催する動きが出てきており、当会としてもなるべく協力していきたい。

新規指定医療機関

●平成20年4月15日

医療機関名称	所在地・電話番号	開設者・管理者氏名
平和の森耳鼻咽喉科クリニック	003-0029 札幌市白石区平和通5丁目北11番20号 ☎011-846-3387	森 督昌
錦町おおしま耳鼻咽喉科	070-0824 旭川市錦町15丁目2903番地20-22 ☎0166-50-3387	大島 收
おぎの耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック	050-0074 室蘭市中島町1丁目3番8号 ☎0143-41-3317	荻野 武
医療法人社団康和会月形診療所	061-0500 樺戸郡月形町1011番地 月形刑務所内 ☎0126-53-3060	医療法人社団康和会 荒谷 英二

●平成20年5月1日

医療機関名称	所在地・電話番号	開設者・管理者氏名
ダイヤモンド健診クリニック	060-0055 札幌市中央区南5条東3丁目14-7 ダイヤモンドビル 2階～4階 ☎011-531-9221	久安 正道
北海道医療生活協同組合 緑愛クリニック	003-0023 札幌市白石区南郷通6丁目北3-24 ☎011-868-8866	北海道医療生活協同組合 野谷 正啓
くろだ耳鼻咽喉科クリニック	069-0854 江別市大麻中町2番1 ☎011-387-8000	黒田 努
医療法人社団慧梓会 カムイの森皮膚科クリニック	070-8013 旭川市神居3条4丁目1番3号 ☎0166-61-3912	医療法人社団慧梓会 和田 隆
ひかりの耳鼻咽喉科クリニック	090-0810 北見市ひかり野1丁目2番8 ☎0157-26-1133	大野 孝一